



障がいのある人もない人も共に生きる



# 12月東村山市議会報告 東村山・生活者ネットワーク 市議会議員 白石えつ子

## 一般質問より

**日本の食環境は、ゲノム編集食品でどう変わるのか！**

※生命の基本であるゲノム(遺伝子)を壊し操作できる技術は、食の安全を脅かし、地球の生態系を破壊する恐れがあります。私達の食卓と子どもの食環境に与える影響が心配です。

「表示義務がないため、ゲノム編集食品と知らずに口にできる可能性がある。市民の知る権利をどう保障していくのか」の問いに「遺伝子を壊す際に生じるオフターゲット等の問題や未知のリスクは常に内在すると認識している。一番懸念される学校・保育園給食は、ゲノム編集に関する情報を極力集め、安全な給食食材の確保に努めていく。」との見解でした。ゲノム編集食品の表示の義務法制化を国に求め、学習会等で議論する機会を作り、情報共有に努めていきます。

**東村山市「子どもの権利条例」制定を！**

子どもは誰のものでもない尊厳存在です。「子どもを権利の主体として位置付ける東村山市『子どもの権利条例』制定の考えはあるか」を聞き、「子どもの権利擁護の重要性、子どもを基本的人権の享受の主体として、市民が認識することは重要と考える。子どもの最善の利益を図り、意見表明権を保障するしくみを、教育・保育の現場で作っていくのか。大人の中に一定ある子ども観の違いを、広く議論した上で、世論が二分しないよう慎重に条例制定について考えていきたい」との前向きな答弁でした。子どもが自分の価値に気づき、失敗しても何回でもやり直せる。子どもが主体的に生きていける権利条例制定を子どもと共に進めていきます。

11/19 埼玉県川口市にある石けんの生産者「アスケー石鹸」の工場を見学。

水環境に負荷が少なく、一日で生分解される石けん製造工程は、いたってシンプル。汚れを落とすなら、石けんが一番！なのに、石けんのシェア率は、何と3%!

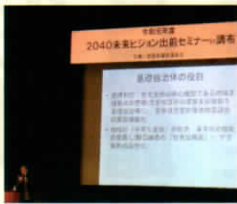


12/28 児童養護施設出身でも、幸せになれること。悲しい思いをしている子ども達を励ます活動報告会に参加。

SNSを活用した活動は、世界的な広がりを見せていた。



1/8 未来ビジョン出前セミナー参加



虐待に対する基礎自治体の役割、せっかんから体罰、虐待への変遷も学んだ。包括的な連携で、子どもの命を守る仕組みを提案していきます。

本委員会は、議員報酬の公正性や妥当性、報酬の根拠を市民にしっかりと説明できるようにするものです。平成16年を最後に15年間検討されてこなかったため、令和2年度をかけたロードマップに沿った委員検討を重ね、結論を導き出した後、市民との対話集委員会ですので傍聴をして頂き、「意見お寄せください」。

議員報酬及び政務活動費に関する調査特別委員会設置

東村山市副市長定数条例改正議案が提案され、政策総務委員会で副市長2人制の議論が行われた。党派「つなごう」立憲・ネットとして、今後到来する少子高齢化社会をどう乗り切るか、第5次総合計画では、2030年先を見据え、負のスパイラルに陥らないためには、民間のノウハウを持ち合わせたスピード感のあるICT化や新しい公共の創出にトップマネージメント力が求められることなど2人制の必要性を一定理解した。条件として女性を登用すること。退職手当償の償還が終わるまで正職員を増やせない中、副市長を2人制にし歳出が増えることの理解を得るためには、職員・市民へ丁寧に説明することをあげ賛成した。

## 東村山地域 ACT 連絡会の学習会「今すぐ始める生前整理・遺品整理」

関心の高いテーマに小さな会場が満席。遺品整理事業をしている整理コーディネーター石見良教氏のテンポよくユーモアを交えながらの実践に基づいた話に誰もがひきつけられていく。生活していると物は増え続け、87歳の女性(平均寿命)で持ち物の量は3t(段ボール箱50個)にも及ぶ。当然ながら、旅立つ時は身一つ。何も持っていけない。残された家族が片付けることを考えると、せめて半分しておく事をすすめられた。

「整理とは物を減らし、処分する。家の外に出すこと」自分の身の回りも、冷静に考えると不要なものが気が遠くなる程ある。

「ひょっとして、いつか使うかも? は訪れない!!」の言葉に踏ん切りがかった。

物への執着心を断つことができれば、後は行動あるのみ。

これまで何冊も片付けの本を購入しては行動が伴わず悶々としていたが、今回ばかりは説得力ある話に突き動かされ、即家に帰って冷蔵庫の整理から始めた。気持ちよくお正月が迎えられうれしい収穫だった。(朝倉 順子)



ACTとは、生活クラブ生協の助け合いの仕組みを地域に広げようと1992年に生まれ、都内各地域で日常生活支援から介護・ケアマネジメント・縁がわ事業まで活動している団体の総称。「地域ACT」は自治体ごとのACT会員の組織体。会員のゆるやかなつながりをつくり、横の連携を強めて地域での助け合いを進めようと会員を増やすアピール活動をしている。市内での会員は280人。

ハテナサロンのお知らせ

**「東村山市は本当に貧乏?」**

日時: 3月8日(日) 10時半~12時半  
場所: まちの縁がわ本町

参加無料

申込み: 東村山・生活者ネットワーク  
TEL&FAX 042-392-7677